

# 環境教育プログラムの策定について

## 1 環境教育プログラムとは

環境教育プログラムとは  
指導的立場にある人（リーダー）が、実際にどのようなことを行うべきなのか、あるいは重要なヒントなどを示す手引きのようなもの  
環境について、教え方を標準化したもの（プログラムの目的やねらい、実施方法、期待される効果、参考となる資料等について明記する）



## 2 プログラムのポイントと重点行動

ポイント  
具体的な行動に移せるものであること  
環境への関心を高めるだけでなく、そこから一歩進んで、環境問題の原因やこれを解決するための対策について自ら考え、具体的な行動に移せるようなものであることが重要

重点行動  
省エネ行動を進めます！  
ごみ減量・リサイクルを進めます！  
水とみどりを守り育てます！  
現在最も取り組むべきである地球環境問題に対応する行動であり、日常生活に密接し、誰もが身近に取り組める上記3つのことを、重点行動として設定

## 3 プログラムの改良・追加

プログラムの完成後、実践した感想や意見等をもらい、プログラムの改良・追加を図る  
プログラムをインターネットで公開して意見を書き込めるようにすることや、プログラムの冊子に意見の募集について明記することなどにより、感想や意見等を広く募集できるしくみを作る。

## 札幌市環境教育プログラムの目次構成（案）

---

### はじめに

#### 1．札幌市環境教育プログラムの策定にあたり

- 1.1 基本的な考え方
- 1.2 重点行動

#### 2．実践編

##### 2.1 実践編の見方、使い方

- (1) 実践編の概要
- (2) 取り組み方法

##### 2.2 小学校編

- (1) はじめに
- (2) 学校全体でできるプログラム
- (3) 教科内でできるプログラム
- (4) 教科外でできるプログラム

##### 2.3 中学・高校編

- (1) はじめに
- (2) 学校全体でできるプログラム
- (3) 教科内でできるプログラム
- (4) 教科外でできるプログラム
- (5) イベントプログラム

##### 2.4 家庭・地域・職場編

- (1) はじめに
- (2) 家庭でできるプログラム
- (3) 地域でできるプログラム
- (4) 職場でできるプログラム

#### 3．資料編

- 3.1 環境教育に役立つ施設、資料等
- 3.2 環境教育に関わる人材、団体
- 3.3 環境教育に関わる情報

#### 4．「札幌市環境教育プログラム」策定ワーキンググループ

- 4.1 検討経過
- 4.2 ワーキンググループ委員名簿

# 環境副教材の改訂について

## 1 改訂の方針

教科との関連を明確にし、授業で使いやすい形とする

## 2 改訂にあたっての考え方

教科との関連を重視し、どの単元・授業に対応して使えるのか明確にする

低学年・中学年・高学年版で重複していた内容を見直す

ワークシートを積極的に活用し、考えて学べる要素を加える

副教材を利用するための手引きをホームページで公開

(内容)

- ・教科との関連対応表
- ・ワークシートの記載例
- ・参考となる資料やホームページの紹介

## 3 改訂の内容について

教科との対応を考慮した構成の変更

(例) 生活科の学習内容に合わせた構成変更

新規ページの作成

(例) エネルギーに関連した内容の充実

子どもたちが理解しやすくなるための工夫

(例) 思考の流れに合わせたレイアウトの変更